

現代青年における成長の機会を伴う好奇心の様相

竹本さり（関西学院大学大学院）

キーワード：現代青年、好奇心

目的

近年、さまざまな資質・能力を求められている。さらに「第3のモラトリアム」の存在も指摘されている(高坂, 2016)。これらの問題の背景のひとつには好奇心の低下が考えられる。好奇心は、Berlyne, D. E. (1954, 1960)によって定式化が試みられたが、定義や概念は状況依存的に使用されている。本研究では、好奇心を成長の機会を伴うものと仮定し、好奇心を「不確実性や曖昧性を受け入れ、積極的に自分から働きかけ、追い求めたる中長期的な反応を示す傾向」と定義した。さらに、本研究では、現代青年の好奇心の内的構造を検討し、自尊感情による差異を検討する。

方法

調査対象者 関西の大学生(短大生を含む)1-4 年生 454 名。

調査内容 好奇心尺度である Kashdan, T. B. (2009)等の尺度や現代青年についての記述がある佐藤・那須(2017)等の論文を参考に項目を作成した。心理学の教員 1 名と教育学専攻の大学生 5 名により作成された項目をもとに妥当性を検討し、最終的に 59 項目を採用した。回答は 5 件法であった。

結果

好奇心尺度の検討 好奇心尺度について因子分析(主因子法、プロマックス回転)を行ったところ、4 因子が最も適切と判断した。そして、『F1 環境変化への耐性』、『F2 新奇性追求』、『F3 知的探求』、『F4 他者への関心』と命名した(Table1)。

自尊感情が好奇心に及ぼす影響の検討 自尊感情の高低における好奇心の差異を検討するために、Rosenberg, M. (1965)の自尊感情尺度の標準化得点について 0 点を境に高・低群に分けた。そして、好奇心尺度の下位尺度得点の標準化得点を用いて 2 要因の分散分析(混合計画)を行った。その結果、『F1 環境変化への耐性』($p < .001$)、『F2 新奇性追求』得点($p < .001$)、『F3 知的探求』得点($p < .01$)において、それぞれ自尊感情の低群より高群の方が有意に得点が高かった(Figure1)。

主要参考文献

Kashdan(2018).The five-dimensional curiosity scale: Capturing the bandwidth of curiosity and identifying four unique subgroups of curious people Journal of research in

personality, 73, 130-149.

Table1 現代青年における成長の機会を伴う好奇心の因子パターン(Factor pattern)($\alpha = .941$)

	F1	F2	F3	F4
F1 環境変化への耐性 (loadings)				
S1 - 2 環境変化への耐性	.838	-.088	-.046	.084
S1 - 3 初歩的な人でも打ち勝てる	.831	-.151	-.094	.247
F1 - 1.4 初歩的な人でも打ち勝てる	.733	-.144	.177	-.160
S1 - 3.8 初歩的な人でも打ち勝てる	.738	-.018	-.054	.039
F1 - 1.4 初歩的な人でも打ち勝てる	.740	-.011	.094	-.102
F1 - 1.5 初歩的な人でも打ち勝てる	.737	.018	.107	-.125
S1 - 4.6 初歩的な人でも打ち勝てる	.641	-.021	-.069	.296
F1 - 1.5 初歩的な人でも打ち勝てる	.630	.108	.111	.119
F1 - 1.6 初歩的な人でも打ち勝てる	.588	.174	-.046	-.109
S1 - 4.8 初歩的な人でも打ち勝てる	.584	.233	-.147	.157
F1 - 1.6 初歩的な人でも打ち勝てる	.499	.321	-.006	-.125
F1 - 2.2 初歩的な人でも打ち勝てる	.448	.267	.265	-.090
F1 - 3.3 初歩的な人でも打ち勝てる	.457	.214	-.080	.194
F2 新奇性追求 (loadings)				
S1 - 4 新奇性追求	-.012	.760	.000	-.090
F1 - 2.6 新奇性追求	.658	.738	-.129	-.036
S1 - 5.1 新奇性追求	.655	-.005	-.048	.150
S1 - 5.8 新奇性追求	.569	.663	.057	.057
F1 - 5.1 新奇性追求	.573	.595	.149	.137
S1 - 5.5 新奇性追求	.546	.282	.095	.095
F1 - 3.1 新奇性追求	.285	.538	-.093	.062
S1 - 3.2 新奇性追求	.033	.538	-.056	.057
F1 - 2.7 新奇性追求	.307	.504	-.091	-.086
F1 - 4.0 新奇性追求	.364	.473	-.171	.078
F1 - 1.2 新奇性追求	.032	.469	.236	.031
S1 - 1.7 新奇性追求	.100	.438	.171	.028
F1 - 1.9 新奇性追求	.104	.375	.000	.000
F1 - 3.4 新奇性追求	.024	.418	-.171	.053
S1 - 3.0 新奇性追求	.016	.417	.105	.038
S1 - 1.8 新奇性追求	.059	.365	.349	-.048
F1 - 5.2 新奇性追求	.084	.338	.309	.043
F1 - 2.3 リスクを取ることを好み	.210	.283	-.119	.041
F3 知的探求 (loadings)				
T1 - 3.6 知的探求	.311	-.221	.778	-.015
T1 - 3.5 知的探求	.024	-.129	.707	-.079
T1 - 4.1 知的探求	.114	.104	.496	.007
T1 - 1.5 知的探求	.100	.169	.426	.025
T1 - 4.7 知的探求	.011	.027	.004	.219
T1 - 2.8 知的探求	.147	-.116	.499	.203
T1 - 1.9 知的探求	.072	.215	.365	.180
T1 - 5.5 知的探求	.196	-.136	.531	.140
T1 - 4.5 知的探求	.074	-.068	.515	.135
T1 - 2.4 知的探求	.269	-.250	.448	.032
T1 - 1 知的探求	.057	.361	.458	-.207
T1 - 4.4 知的探求	.049	.297	.500	-.020
T1 - 4.1 知的探求	.158	.238	.581	.239
F4 他者への関心 (loadings)				
T1 - 5.4 他人への関心	-.148	.159	-.073	.713
T1 - 4.6 他人への関心	.233	-.049	-.025	.655
T1 - 5.0 他人への関心	.126	-.095	-.036	.695
T1 - 4.2 他人への関心	.044	.094	.079	.559
S1 - 3.7 他人への関心	.070	.048	.111	.574
T1 - 3.9 他人への関心	.109	-.065	.179	.555
S1 - 5.3 他人への関心	.171	.035	-.047	.554
T1 - 1.3 他人への関心	.007	.027	.023	.510
T1 - 2.1 他人への関心	.138	.058	.125	.490
T1 - 2.5 他人への関心	.060	-.026	.022	.456
S1 - 2.5 他人への関心	.410	.011	-.000	.444
S1 - 1.8 他人への関心	.186	.076	.004	.438
T1 - 5.9 他人への関心	.052	.020	.189	.347
T1 - 8 他人への関心	.003	.089	.166	.303
因子間相關	F1	F2	F3	F4
	.426			
	.368	.590		
	.357	.368	.403	

注1: a)係数は、b)負荷量を示す項目のみを採用して算出した。

注2: 重複した項目は、上位項目を採用して算出した。

注3: 重複した項目は、下位項目を採用して算出した。

注4: 新奇性追求、F2: 新奇性追求、F3: 知的探求、F4: 他者への関心。

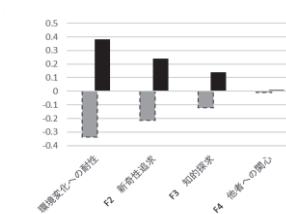


Figure 1 自尊感情の高低による好奇心の差異